

### 組織部報告

一、本年度に新設されたる組合は、別表の如く七組合、一三四五名であつた。この以外に既に加盟せる組合中新に支部を組織して組合員増加を示せるものは、東京鐵工組合、逕友同志會、運輸労働組合、中央合同労働組合等であつた。

二、組合の解體したるものは、二組合三四〇名で、此以外に、關東釀造労働組合、紡織労働組合等は組合員の減少を見た。從つて全體としては六百七十名の増加であつた。

三、新設組合中、自動車運轉士組合は、從來此種の組合が、職業紹介及共済を輕視したけれども、本組合は之を相當重要視する方針を以つて創立されたものである。當業炭鑛夫組合は、日本坑夫組合より脱退して本同盟に加盟したものであるが、炭鑛の不況、先年に於ける爭議慘敗の影響は、組合の發達に多くの困難を豫想さるゝところである。群馬交通労働組合は、群馬縣下の數箇の乗合自動車會社従業員を以つて組織されたもので、漸時健實なる發達をなしつつある。

神奈川染色労働組合は、主として横濱に於ける輸出絹布の染工場を中心として組織されたものである。神奈川、宮城、前橋各合同労働組合は、當該地の雜工業労働者を組織するものである。

四、信州交通労働組合、諏訪合同労働組合は資本家の猛烈なる壓迫に對し、未だ該地方に、有力なる友誼組合の組織が無い爲めに遂に解體せざるを得ない事情に立至つたものである。

五、セメント労働組合は、昭和四年四月門セメント労働組合と合同して合國的組織を持つに至つた。逕友同志會も、昭和四年八月京都に支部を創立して全國的組織の第一歩をふみ出した。

六、組織労働者に對する労働組合の宣傳は、相當浸潤して居るから、今後之等を組合に吸収し得るや否やは健實強力なる労働組合の發達如何に依つて決する。

#### 加入及び解體組合一覽 (自昭和三年八月至昭和四年九月)

組合名	創立	所在地	組合員數		創立動機	解體理由
			男	女		
自動車運轉士組合	昭和四年	東京市芝區三田四丁目二ノ六	一八〇	—	宣傳運動	
當業炭鑛夫組合	昭和四年	福島縣石城郡内郷村	三五〇	—	組合同盟ヨリ復歸	
群馬交通労働組合	昭和四年	群馬縣吾妻郡中之條町	一三〇	三五	一六五	值上
染色労働組合	昭和四年	織笠市中區南太田町	八〇	—	八〇	宣傳運動
神奈川合同労働組合	昭和四年	川崎市新川通り五	三二〇	—	三二〇	同
宮城合同労働組合	昭和四年	仙台市南町通り	一五〇	—	一五〇	同
前橋労働組合	昭和四年	前橋市向町二〇	五〇	五〇	一〇〇	賃銀値下反對
信州交通労働組合	大正十四年十月	長野縣伊那郡赤穂村	一七〇	—	一七〇	自然解體
諏訪合同労働組合	昭和三年	長野縣岡谷町	一七〇	—	一七〇	同

### 調査部報告

新加入組合 七組合 組合員 一三四五名 (男一二六〇、女八五)  
 解體組合 二組合 組合員 三四〇名 (女ナシ)